

総会中止のお知らせ

同窓会総会ですが、昨今の現況を考えますと、多くの会員が集まり懇談することはまだ危険と判断し、今年度も中止するとの結論にいたりました。何卒ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

なお、白寿（38回卒生）米寿（高6回卒生）の皆様には往復葉書にてご連絡をして、返信していただいた方に記念品をお贈りさせていただきます。該当学年でお葉書が届いてないようでしたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

ご長寿おめでとうございます

◎白寿・百歳（37回卒生）
北村 良枝 様 小山 孝子 様 寺田 静子 様
仁田 操 様 福井 淑子 様 山本すず江様

新副会長紹介

村田千鶴子様（現島田支部長 高24回卒）
が今年度より新しく加わりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



寄附のお願い

<目的> 教育環境の充実
<用途> *静岡福祉大学教育環境整備募金 *静岡大成中学高等学校教育環境整備募金 *静岡精華幼稚園教育環境整備募金 *使途を限定せず（同窓会の寄付とは異なります）
<寄付金額> 1口3,000円以上
<お申し込み方法>
電話やメールでお問い合わせください。
学校法人 静岡精華学園 法人本部
電話:054-656-2100 メール:honbu@suw.ac.jp
ホームページを通じた申し込みも可能です。
サイトアドレス <https://s-seika.jp/>
※寄附者のご芳名は静岡精華学園報でご報告させていただきます（匿名希望も可）

会長挨拶

高23回卒 仁田 桂子（杉原）



「危険な暑さ」「熱中症警戒アラート」「国連のグテーレス事務総長が深刻な表情で地球沸騰」とまで言っているこの夏、皆様におかれましてはお元気にしておられますか？

本当に暑いですね。先日TVで1985年の映画を見ていまつたら、新聞社で「今日の最高気温」とデスクが大きな声で皆に伝える場面ありまして、暑かった事を伝えたかったのでしょうかが「31.9℃」と言っていました。38年たった今、静岡では33~34℃位が最高でしたが、全国では40℃まで上がった日もありました。地球温暖化は確実に起こっています。それに伴う異常気象もあちらこちらで線状降水帯を生み、豪雨をもたらしています。カナダやマウイ島の山火事など挙げればきりがありません。

災害に遭遇し、一生かかる築き上げた財産を一瞬にして失ってしまった方々や大事な人の命までも奪われてしまった方々に心からお見舞い申し上げます。

私は5年前に読んだ「グレタの願い」という本を思いました。スウェーデンの環境活動家といえばご存知の方も多いでしょう。あの本に書かれていたことが本当のことになってしましました。私たちは子供たちに持続可能な地球を残す事が出来るのでしょうか？

さて、8月は特に戦争、世界平和を考えなければならないと思います。8月の終わりごろ急に空いた日が出来ましたので、以前から行きたかった上田市の無言館（戦没学生慰靈美術館）に行ってきました。暑い日でしたが蝉しぐれの中、喘ぎながら山道を登って行くとそこは今までとは別世界です。静かな中に若くしてなくなった画学生の悔しい思いが心に刺さってきました。もっと生きてたくさんの絵を残したかっただろうに。

今もなおロシアのウクライナ侵攻は終わりません。もういよい加減にして欲しいと思います。

私たちは戦争のない、平和で温暖化対策が進んだ地球を次世代に残さなければなりません。

(8月末記)

事務局より

住所・氏名変更について

転居や住居表示変更、結婚等で住所や氏名などの変更が生じた場合には早めに同窓会事務局までお知らせください。尚、連絡の際には、卒業年度・卒業回数・在籍時の氏名（旧姓）・変更前の住所氏名などもお忘れなく！

（連絡先） 静岡市葵区鷹匠二丁目4-18
静岡大成中学校・高等学校内
静岡精華・大成同窓会
TEL 054(254)7334

●同窓会事務補助費決算報告

令和4年4月～令和5年3月

<収入の部>

前年度繰越金	1,250,474 円
振込総額	418,311 円
	① 1,668,785 円

<支出の部>

同窓会だより印刷代	238,095 円
印刷代振込手数料	880 円
会報発送業務費用	38,109 円
郵送代	292,559 円
発送業務費振込手数料	880 円
寄付者名簿用紙代	3,255 円
合 計	② 573,778 円

<次年度繰越金>①-② 1,095,007 円

事務補助費振込みのお願い

「同窓会だより45号」お楽しみいただけたでしょうか。この同窓会だよりは、事務補助費で運営されており、平成28年度発行分からは希望者と事務補助費寄付者のみに郵送しております。これからも母校の様子・同窓会活動をお知らせするため「同窓会だより」の発行を続けていきたいと思っていますので、1口1,000円の寄付に引き続きご協力いただきたくお願い申し上げます。

なお、母校ホームページの同窓会コーナーに「同窓会だより」を掲載しております。



時代に即応する人材
／ 凛々しきこと 優しきこと／

精華



静岡精華・大成同窓会だより No.45

会長挨拶

高23回卒 仁田 桂子（杉原）



校長挨拶

静岡大成中学校・高等学校
校長 山田 隆司

同窓生の皆様こんにちは。日頃本校の教育にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。今年に入り、ようやくコロナウイルスから解放される兆しが見え始めましたが、生徒たちがマスクを外すにはもう少し時間がかかりそうです。今年も同窓会や支部会に顔を出す機会がなく大変残念ですが、同窓生の皆様はお変わりございませんでしょうか。

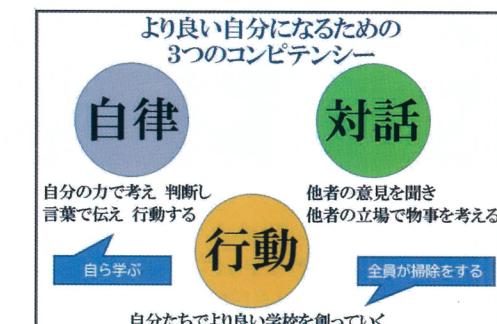
今年度、本校は創立120周年を迎ましたが、昨年度の同窓会だよりでお伝えしたように、記念行事等は創立125周年に実施することとし、今年度から学園全体でその準備に入りました。その中で、何としても実現したいのは新体育館の建設です。現在の創立80周年記念体育館は、40年を過ぎ耐用年数の限界に近づいています。Wi-Fi環境や空調設備があり、夏の行事が実施できる新体育館を建設し、一日も早く多くの生徒に「新しい体育館で良かった」という思いをさせてあげたいと思います。当然、生徒募集にも大いにプラスとなりますので、これからの時代に合った素晴らしい体育館を造りたいと思っています。同窓生の皆様、ぜひお力添え賜りますようお願いいたします。

下の図は、日本財団による18歳意識調査（17～19歳の若者各1000人）、「国や社会に対する意識」令和4年3月22日実施の結果です。

図 Q.自身と社会の関わりについて以下の項目に同意しますか。「はい」回答率を掲載



日本の若者はいずれの意識も6国中最下位です。これは長年にわたり「与えられる教育」を受け、主体性を失って自律できない生徒を育ててきた日本の学校教育に原因があると考えられます。



今年度、本校は『学校教育の転換』を目標に、新しい取り組みをいくつか始めました。その中心は上記の「より良い自分になるための3つのコンピテンシー」です。生徒たちが、『自律』と『対話』によって、自分たちでより良い学校を創っていく『行動』を目指します。

また、今年度から「チーム担任制」を導入しました。クラス担任を1人に固定せず、中学は各学年2クラスを3人の担任が、高校1年生は3クラスを4人、2クラスを3人の担任が受け持ります。担任が複数いることで、それぞれの得意な分野で生徒と接することができ、生徒の相談の幅も広がります。その結果、生徒は自分のことを自分で考えるようになり、『自律』につながっていきます。教員は、「チーム」で一人ひとりの生徒を見ることができ、心の余裕が生まれます。必要に応じて休むこともでき、働き方改革にもつながります。

これまで閉塞感のあった学校教育を、これからは変えていきます。

「時代に即応する新しい教育」を実践していきます。同窓会の皆様には、ご理解とご協力、ご支援をいただければ大変うれしく思います。

最後になりましたが、同窓生の皆様には、くれぐれもお体に十分留意され、健康第一でお過ごしください。

OHRIINSAI 桜凜祭

今年の桜凜祭は保護者の皆様にも参加して頂き、無事に開催することができました。ここ数年はコロナの影響により生徒のみの参加で開催していたため、今年はいつも以上に活気があり、生徒にとっても高校生活の中で思い出に残る時間だったと思います。クラスごとのステージ発表や展示、販売、有志発表も行われました。普段の生活とはまた違った生徒の様子や、桜凜祭を楽しむイキイキとした生徒の姿を見る事ができ、学校としても良い時間を過ごす事ができたと思います。



Camp キャンプ

昨年10月中旬に、中学2年生(現3年生)を対象に、御殿場にある国立青少年交流の家にて、2泊3日でEnglish Campに出掛けました。学校の授業とは異なる環境に身を置いて、すべて英語で行われる授業や活動を体験してきました。同じグループの仲間とも協力し合い、一生懸命英語で伝えようと頑張ってきました。外国人講師の先生から教わったことを、今後の英語の授業や英検で活かしてほしいものです。

Training

トランジング

7月29日・30日の2日間、中学1年生を対象としたEnglish Trainingが本校内で行われました。1年生にとっては、初めての体験だったので、最初のあいさつでは小さく恥ずかしそうな声で話していましたが、2日間の英語漬けの授業を行うことによって、自信をつけた生徒も何人かいました。最終日のプレゼンやあいさつでは、どの生徒も外国人講師の先生と同じようなノリで盛り上がりながら、プレゼンを行っていました。通常の授業とは違った形で英語に触れ、英語の楽しさを学んで帰ってきました。

いきいき 卒業生

静岡大成高校硬式野球部9期生

岡本拓也



こんにちは。私は静岡大成高校硬式野球部9期生の岡本拓也と申します。大学卒業後から3年間は硬式野球部の外部コーチとして活動に参加させて頂きました。昨年は本校の非常勤講師として、今年度からは常勤講師として1年生の担任と情報・技術の授業を受け持っています。

私は小学校1年生から野球を始め、大学4年生までの16年間は選手として野球を続けてきました。その16年間の野球人生の中でも高校3年間の野球生活が最も成長できた時間であったと感じています。技術面ではもちろんですが、礼儀・挨拶・マナーの大切さや野球に取り組む姿勢など、社会に出てからも必要とされる人間性を教えて頂きました。

人としての成長があったことで、進学した山梨学院大学でも2年生から主力として試合に出ることが出来たと思っています。

現在は教員として、生徒にチーム全員で甲子園を目指す素晴らしい野球を通して技術以外の人として大切なことも伝えていきたいという思いで日々取り組んでいます。また、野球部が勝利を目指すことが自分を成長させてくれた静岡大成高校野球部への恩返しであり、高校時代に選手として甲子園へ連れていくことのできなかった恩師の横山力先生を選手とともに甲子園へ連れていくことが私の目標です。引き続き野球部への応援をよろしくお願ひいたします。



静岡福祉大学
学長

増田樹郎

令和4年度、静岡福祉大学は2つの協定を結びましたので、ご紹介させていただきます。

●静岡産業大学の単位互換に関する協定

静岡産業大学から提供してもらう社会人講師によるスポーツチーム運営、金融機関の現場を紹介してもらう講座等を本学学生が学ぶことができ、静岡産業大学の学生は本学の心理学や子どもに関する講座を学ぶことができます。単位互換制度を利用して、学生に新たな学びを提供することができます。

●富士市との包括連携協定

地域との連携事業を推進する本学が、富士市が抱える福祉・保健・子育て支援などの課題について解決に取り組むこととなります。これから教員と学生が、富士市の市街地で研究活動などをを行う姿を見ることができます。

新たな協定締結が学生・教職員の新たな学びや取組みにつながり、地域に生きる大学として常に活性化できるようになっていきます。



静岡精華幼稚園
園長

熊谷隆弘

「遊び」は「まなび」

子どもたちは、「遊び」を通して知識を獲得し、「遊び」を通して自らの技能を高めています。主体性やコミュニケーション能力、園児なりの危機管理能力や様々な状況判断力も、もちろん「遊び」の中で培われています。まさに、「遊び」は「まなび」なのです。

静岡精華幼稚園は、「遊び」を「まなび」と捉え、「知・徳・体」のバランスの取れた豊かな人間性と生きる力を確実に育むための教育活動を日々行っています。また、教育活動における優先順位を「第1に命」「第2に人権」「第3に教育効果」とし、子どもたち一人ひとりがもっている大きな可能性を大切にしながら、丁寧に、謙虚に子どもたちや保護者に向かい、寄り添うことを大切にしながら、様々な取り組みを進めています。

本年度になり、コロナ禍での様々な制限が緩和され、いろいろな活動が実施できるようになりました。幼稚園にとっては、本当に大きなことです。

7月には、昨年度まで通常開催することができなかった「夏まつり」と「お泊まり保育(年長)」を行いました。「夏まつり」は夕方からの実施です。子どもたちは、お気に入りの浴衣や甚兵衛を着て、家族みんなで参加です。もちろん参加者の人数制限はありません。年中長児は、クラスごとおみこしを担ぎ、年少児はうちわをもって「わっしょい!わっしょい!」と幼稚園の近隣道路を元気よく練り歩きました。ヨーヨーすくいやゼリーすくい等のお店にも大満足。子どもたちの素敵な笑顔が印象に残りました。

年長のお泊まり保育では、プロのマジシャンによるマジックショーを見たり、カレーを作りてみんなでおいしく食べたりしました。キャンプファイヤーや花火もできました。何といってもドキドキするけど楽しみなのは、お友だちと一緒に寝ることです。初めて親元を離れ、お泊まりする園児もいるので園児の心境も複雑です。

しかし、この「お泊まり」こそが、子どもたちの大きな成長につながります。不安な気持ちもあったけど、その分できた喜びも大きいし、やり切ったという年長児としての自信を得ることもできます。この2日間、園児たちは様々な活動をしながら、数多くのことを「まなび」ました。年長児としての自覚と自信も、より一層深めることができたのです。

2学期以降も、運動会を皮切りに子どもたちがとても楽しみにしている様々な行事が目白押しで、「造形遊び」「劇遊び」「音楽遊び」と続いていきます。静岡精華幼稚園は、これからも様々な「遊び」を通して、園児一人ひとりの「まなび」を深めていきます。

